


2021
あきたキッズ
プログラミング
アワード
～未来を変えるのは君だ!～

2021 あきたキッズプログラミングアワード 開催要項

- | | |
|--------|---|
| ① 対象 | 小学1年生～中学3年生の個人または3人までのチーム 秋田県内に在住し、2022年3月31日時点で上記に該当する方 |
| ② テーマ | 「みんなのみらい」 自分のみらい、大切な人のみらい、地域のみらい。 みんなの明るいみらいのために役立つような アイデアが詰まった未来志向の作品を募集します。 |
| ③ 募集要項 | ○アイデア部門／プログラミングで実現可能なアイデアを競います。 ○ソフトウェア部門／オリジナルソフトウェアの発想力や完成度を競います。 |
| ④ 応募期間 | 2021年10月17日（日）～2021年12月10日（金） |
| ⑤ 応募条件 | 個人または1チーム1作品。 テーマに沿った作品であること。 プログラムは、ジャンル・言語・作品ツール・機器は問いません。 すでに公開された作品・他大会との重複応募、受賞作、その他発表済み作品の応募も 可能。その場合は、応募歴を記載してください。 ※1人が複数のチームに所属することは不可。 |
| ⑥ 応募方法 | 公式サイト専用フォームから必要事項を記入のうえエントリー登録を行います。登録後、あきたキッズプログラミングアワード実行委員会事務局（以下、事務局）からエントリーシートを送付します。エントリーシートに必要事項を記入のうえ、事務局へ返信（メールまたは郵送）してください。 公式サイト： https://akpa.jp/ |
| ⑦ 送付先 | 〒010-8601 秋田市山王臨海町1-1 秋田魁新報社営業局内 あきたキッズプログラミングアワード実行委員会事務局宛 |

エントリーシート提出締め切り：2021年12月10日（金）必着
メール：info@akpa.jp

⑧ 審査項目

アイデア部門
テーマ性・発想力・表現力・実現性等を総合的に評価します。
ソフトウェア部門
テーマ性・発想力・表現力・技術力等を総合的に評価します。

⑨ 審査日程

▽一次審査 2021年12月中旬
書類審査
▽二次審査 2022年1月上旬
アイデア部門：作品のプレゼンテーション動画を審査
ソフトウェア部門：作品のプレゼンテーション動画・プログラムを審査
▽ファイナリスト決定 2022年1月中旬
各部門からファイナリスト5組（計10組）を選出
▽ファイナル（最終審査） 2022年2月6日（日）
WEBライブ配信（予定）
アイデア部門：作品のプレゼンテーション動画を審査
ソフトウェア部門：作品のプレゼンテーション動画・プログラムを審査

⑩ ファイナル
審査員

| | |
|----------------------------|--------|
| 秋田魁新報社 代表取締役社長 | 佐川 博之 |
| 秋田大学教育文化学部 副学部長 教授 | 林 良雄氏 |
| 秋田県立大学 システム科学技術学部情報工学科 准教授 | 廣田 千明氏 |
| 秋田工業高等専門学校 電気・電子・情報系 教授 | 伊藤 桂一氏 |
| | ほか |

⑪ 賞

各部門から優勝者各1組

⑫ 表彰

賞状および副賞

⑬ その他

小学生の最上位者は、2022年3月6日（日）に開催する「2021全国選抜小学生プログラミング大会」へ出場できます。
※参加対象は、小学1年生から6年生までの個人またはチームです。

⑭ 連絡方法

本アワードは、原則としてメールで連絡を行います。受信ならびに随時確認が可能な

⑮ 注意事項

メールアドレスを登録してください。開催期間中にメールアドレスの変更等がある場合は、事務局までご連絡ください。急な連絡が発生した場合は、お電話で連絡をさせていただく場合があります。団体代表者の連絡先は、主催者側が代表者に連絡のとれる先を登録してください。連絡がとれない事情が発生した場合は、事務局までご連絡ください。

応募作品の著作権は、応募者に帰属します。

応募作品に使用するソースコード・画像・音楽等の各種素材は、著作権を侵害していないものに限りです。

応募に関する費用は、全て応募者が負担するものとします（大会応募に必要な機器等を含む）。

本アワードに応募した作品は、主催・共催・後援・運営協力・企画協力・弊実行委員会・協賛社が、マスメディア・提携サイト・出版物などの媒体に無償で使用することがあります。

応募者は、親権者の同意を得た上で応募を行うものとします。

審査結果についてのお問合せは、受け付けません。

応募者が作品に応募したことに起因して応募者、または第三者が被った被害及び損額に関して、主催者側は一切の責任は応じません。

入力いただいた個人情報は、本アワードに関連する事項にのみ使用いたします。

応募をもって、本要項の記載内容に同意したとします。

| | | |
|---|---|---|
| 主 | 催 | 秋田魁新報社 |
| 共 | 催 | 秋田大学、秋田県立大学、秋田工業高等学校専門学校 |
| 後 | 援 | 秋田県、秋田県教育委員会、（一社）秋田県情報産業協会、（一社）共同通信社、 （株）共同通信社、経済産業省 |
| 運 | 営 | 協力 秋田コア ビジネスカレッジ、アイネックス |
| 企 | 画 | 協力 秋田県子どもプログラミング教育研究会会長 廣田千明（秋田県立大学 准教授） |
| 事 | 務 | 局 あきたキッズプログラミングアワード実行委員会（秋田魁新報社営業局内） |

2021年10月

あきたキッズプログラミングアワード実行委員会